

## 「2024年3月期第1四半期 決算説明会」主な質疑応答（要旨）

Q1 2024年3月期は宅配便（宅急便・宅急便コンパクト・EAZY）の平均単価が前期から4.7%上昇する予想となっていますが、プライシング適正化の進捗状況について教えてください。

- 労働力人口の減少に伴う賃金・時給単価の上昇や、国際情勢・円安などによる原材料・エネルギー価格の上昇、物流業界における2024年問題への対応などを踏まえ、2023年4月3日より届出運賃を改定しました。
- また、個別契約を締結している法人のお客様に対しても、これまでのお取引の状況や契約内容等を踏まえ、順次交渉を進めています。
- 当第1四半期における宅配便（宅急便・宅急便コンパクト・EAZY）の平均単価は前期から2.3%上昇しました。セグメント別では、リテール部門が前期から4.0%、法人部門が前期から1.5%上昇しました。
- リテール部門の平均単価が先行して上昇していますが、法人部門のお客様との交渉も着実に進めており、全体の平均単価は、第2四半期以降も個別契約の更新時期に合わせて、段階的に上昇していくと想定しています。

Q2 2024年3月期第1四半期は、宅配便の取扱数量が想定を下回った中で、営業費用をコントロールできた要因を教えてください。

- EC物流ネットワークと既存ネットワークの全体で、需要の変動（取扱数量の増減）に対応するオペレーションの仕組みが定着しつつあります。
- 当第1四半期は、宅配便の取扱数量が弱含みで推移した中、想定業務量に対し、既存ネットワークの稼働率を高めながら、EC物流ネットワークを機動的に活用するなど、オペレーティングコストの適正化を推進しました。
- 引き続き、お客様の動向等を踏まえた業務量の予測に基づく、適切なオペレーションに注力するとともに、営業所の集約・大型化、ターミナル機能の見直し、働き方・体制の刷新など、既存ネットワークの強靱化に向けた取組みを推進していきます。

以上